

平成21年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・クワコナカイガラムシ（No.1）

平成21年4月28日

鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化が平年よりやや早い4月28日に認められた。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底する必要がある。

2. 情報の根拠

- (1)クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化が、平年よりやや早い4月28日(平年：4月30日)に認められた。
- (2)向こう1か月の気象予報から、越冬世代幼虫のふ化最盛日は5月3日前後(平年：5月5日)と見込まれる。

3. 防除上注意すべき事項

- (1)昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代及び第2世代よりふ化時期が揃いやすいので、防除を徹底する。
- (2)昨年度多発した園では、5～7日間隔で以下の時期を目安に2回の防除を行う。
 - ・幼虫ふ化最盛期 5月3～8日
 - ・幼虫ふ化終期 5月9～14日少発の園では5月9日前後に1回防除を行う。
- (3)薬剤は、スプラサイド水和剤1,500倍液又はアプロード水和剤1,000倍液などを使用する。
- (4)薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (5)農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。